

| | | | |
|--|---|-------------|-------------------------------|
| 授業科目名： 教科（国語） | 教員の免許状取得のための 必修科目 | 単位数： 2単位 | 担当教員名： 嶋田 優 担当形態： 単独 |
| 実務内容 （実務家教員の場合） | 小学校教諭、指導主事としての勤務経験を持つ教員が、国語科における指導計画の作成、学習指導案の作成について指導する。 | | |
| 科 目 | 教科及び教科の指導法に関する科目 | | |
| 施行規則に定める 科目区分又は事項等 | 教科に関する専門的事項 ・国語（書写を含む。） | | |
| 「学位授与の方針」との関係 DP2. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力） | | | |
| 授業のテーマ及び到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校国語科の基本的な内容についての理解を深め、実践力向上を目指す。 ・ 学習指導要領に示された国語科の目標及び内容並びに全体の構造を理解する。 ・ G I G A スクール構想に基づく国語科指導の改善について理解する。 ・ 個別の学習内容について指導上の留意点を理解する。 ・ 国語科の学習評価の考え方を理解する。 ・ 国語科と学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できるようにする。 ・ 書写指導の理論について理解を深め、実践に活かすことができるようにする。 | | | |
| 授業の概要 <p>小学校学習指導要領「国語」と「解説 国語編」に基づき、それぞれの到達目標に沿った学習を進める。 書写の指導についての理論をもとに、具体的な実践力を高めていく。</p> | | | |
| 授業計画 <p>第1回：学習指導要領改訂の経過と基本方針について理解する。 第2回：国語科の改訂の趣旨と要点についてまとめ前回の学習指導要領との比較をして理解を深める。G I G A スクール構想の趣旨と国語科教育との関連性について考察する。 第3回：「目標と内容の構成」についての理解を深める。 第4回：「学習内容の改善と充実」について以下の点を中心に理解を深める。 ①語彙指導 ②情報の扱い方 ③学習過程の明確化 第5回：「学習内容の改善と充実」について以下の点を中心に理解を深める。 ④我が国の言語文化 ⑤漢字指導 第6回：「学習の系統性の重視」についての理解を深める。 第7回：「授業改善のための言語活動の工夫」についての理解を深める。 国語科における主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）についての理解を深める。 第8回：「読書活動の改善・充実」についての理解を深める。 第9回：国語科の目標及び学年の目標について理解する。 第10回：国語科の内容について理解する。 第11回：「思考力、判断力、表現力等」の内容について各領域ごとに理解する。 A 「話すこと・聞くこと」に関して 第12回：「思考力、判断力、表現力等」の内容について各領域ごとに理解する。 B 「書くこと」に関して 第13回：「思考力、判断力、表現力等」の内容について各領域ごとに理解する。 C 「読むこと」に関して 第14回：国語科における学習評価についていくつかの具体例をもとに検証し、その方法について理解する。 第15回：教材研究において大切にすべき点について理解する。書写指導の基本について学修する。 科目修得試験</p> | | | |
| スクーリングでの学修 | | | |
| テキスト <p>(1) 文部科学省 『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 国語編』 978-4491034621</p> | | | |
| 参考書・参考資料等 <p>(1) 『平成29年版 学習指導要領改訂のポイント 国語』 明治図書 978-4-18-271727-7 (2) 『実践へのヒント 国語科授業用語の手引き』 教育出版 978-4-316-80267-1 (3) 文部科学省 各教科等の指導におけるICTの効果的な活用について</p> | | | |
| 学生に対する評価 <p>レポート評価（50％）、科目修得試験（50％）</p> | | | |